

議会だより

がんばる人【シリーズ第6回】

千葉県出身の酪農家
萱森 健太 さん (36歳・安江)



がんばる人インタビュー	2
現地視察	3
一般会計6月補正予算	4
常任委員会の動き	6
議案一覧	8
賛否の分かれた議案/討論概要	9
議会の動き	9
一般質問	10
編集後記	16

シリーズ 第6回 **がんばる人** 自然に囲まれ自分を生きる



山上地区の牛舎を引き継ぎ26歳で独立



朝、搾乳した後は業者が取りに来てくれる。牛乳は大津に運ばれ「福井県産牛乳」としてスーパーで発売される。



牛舎は常に手間をかける必要があり休みはなかなか取れない



町の休耕田を活用し牧草を栽培できればうれしい

Q 美浜町で酪農家になった気かけは何ですか。
A 大学在学中に酪農の本場ニュージーランドに留学して卒業後に勝山市の牧場で働いたことです。県の酪農家の紹介で美浜町で引退を考えていた酪農家の牛舎を引き継ぎ、2年間の研修を経て26歳で酪農家として独立しました。
Q こちらで結婚されたのですか。
A 妻とは勝山の牧場で出会い結婚しました。長男が1歳の時に美浜町の安江に移住して現在は3人の子もがいます。
Q 仕事の内容を教えてください。
A 現在、母牛40頭、子牛20頭を飼育しています。朝6時30分から牛の乳絞り（搾乳）はもちろんのこと清掃、エサやり、

哺育（子牛に乳をのませること）と休む間もありません。子牛を育てて次の母牛にするのも大切な仕事です。母乳は限られた期間しか出ないため繁殖し、継続していくことも大事な仕事です。
Q 経営は順調ですか。
A コロナ禍の牛乳余り、国際情勢による飼料価格の高騰等で厳しい状況が続いています。また、生き物を扱う仕事ですので休みがありません。
Q お子様の教育はどうですか。
A クラスの生徒数が20人前後のため先生の目が行き届くのもいいですね。また海や山などの自然が豊かでそれを活かした体験学習がとりいれられているのも素晴らしいです。

千葉出身で酪農の道を歩みだした子どもたちと自然に囲まれ改めて美浜の良さに触れる酪農の仕事为天職と思いやりたかった生活がこれ

プロフィール
千葉出身 36歳
福井県立大生物資源学部卒業
妻と子ども3人（保育園年長・小学3年生・5年生）



飼料の高騰が経営を圧迫

● **議会の課題**
一次産業への支援と若い担い手の育成



母牛の管理も大事な仕事



現地視察

美浜の
今を知る

6月19日、新庄地区で株式会社グリーンパワーインベストメントが進めている風力発電の環境アセスメント調査の状況と折戸林道の道路状況を確認しました。



風力環境アセス

年間を通じて発電に必要な風が吹いています。騒音・超低周波音、動植物、景観など、法令に基づいた調査が実施されていました。

現況と風車（最大25基）から発生する音の大きさをシュミレーションして比較していました。

稀少動物の生息状況を踏まえて、影響を回避できるように風力発電機の配置や新設道路などの造成計画を検討していました。



折戸林道

降雨による路面洗掘があり、定期的に補修する必要があります。

新庄区では、登山者のためにトイレを設置しています。

便槽の堆積量から入山者の推計を行った結果、折戸林道で3000人、栗柄林道で3600人利用があるそうです。



11億3,778万8千円

(予算総額 87億6,105万3千円 前年比97.0%)

商工費 1億281万1千円



- ① キッチンカー等導入支援事業 300万円 「にぎわいゾーンの整備」(新規事業)
キッチンカーにより、町内のイベントや道の駅等の出店によるにぎわいを創出。(詳しくは、産業政策課へ)
- ② 生産者販売チャレンジ支援事業 223万5千円 「にぎわいゾーンの整備」(新規事業)
町内生産者の道の駅「はまびより」直売所での販売チャレンジを支援し、農林水産物の生産及び販売拡大を図るため、事業者の出荷体制や出荷手数料を支援する。

土木費 4億276万2千円

- ① 老朽危険家屋等対策事業 537万円 「地域力向上として」(拡充事業)
特定空家の適正管理及び解体を促進するため、補助制度を充実する。
- ② 住宅団地整備事業 3,007万5千円 「人口減少対策として」(拡充事業)
分譲開始にあわせ、分譲地購入及び住宅建築に対し補助する。



専決処分費 7,037万1千円

緊急に補正する必要が生じたが、議会を招集する時間的余裕がなかったため。

- ① 「令和5年4月13日専決処分」
 - ★新型コロナウイルス感染症対策費(ワクチン予防接種事業) 4,048万円
(令和5年度のワクチン予防接種となる。)
- ② 「令和5年5月16日専決処分」
 - ★新型コロナウイルス感染症対策費(子育て世帯生活支援特別給付金給付事業) 330万6千円
(低所得世帯の児童一人あたり5万円を支給する)
 - ★社会福祉総務費(電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援事業) 2,658万5千円
(低所得世帯に1世帯あたり3万円を支給する)



6月一般会計補正予算額

当初予算を骨格予算として編成しており、補正予算内容は町の総合振興計画の実現に向けた肉付け予算として、事業効果の高いものを計上した。

総務費

2億 7,133万 4千円



① 省エネ家電買い替え促進事業 1,300万円

「コロナ・物価高騰対策」(新規事業)

「脱炭素・カーボンニュートラル」の推進を図ることを目的に、省エネ家電(省エネ基準を達成したエアコン・冷蔵庫)の購入費用の一部を補助する。(詳しくは、住民環境課へ)

② みはまシナプスプロジェクト事業 3,343万4千円

「にぎわいゾーンの整備」(新規事業)

町の「にぎわいゾーン」の、JR美浜駅から生涯学習センター「なびあす」間において、美浜らしい更なるにぎわいと交流創出を目的としたアクションを展開する。

③ 美浜ふるさと納税推進事業 500万円

「町の魅力UPと地域経済の活性化」(新規事業)

町内特産品の魅力を全国にPRするための、ふるさと納税返礼品の充実・商品開拓にチャレンジする事業者を支援する。

民生費

1億 375万 6千円



① 物価高騰に係る子育て世帯応援事業 1,370万2千円

「コロナ・物価高騰対策」(拡充事業)

物価高騰の影響を大きく受ける子育て世帯を支援するため、町内で利用できる「子育て世帯応援商品券」を配布する。「補助対象：18歳未満の子供を養育する世帯。児童一人当たり1万円」

② こどものあそび場づくり事業 419万2千円

「人口減少対策として」(新規事業)

子ども達が天候に関わらず楽しく遊び、子育て世代が交流できる場を整備し、健全な育成、安心な子育てができる環境の充実を図る。

③ 保育園いきいきコネクト事業 1,899万6千円

「情報化社会の推進として」(新規事業)

「より良い保育」の実現を目的として、保育園のICT化による保育業務の充実を図る保育業務支援システムを導入する。

常任委員会の動き

6月定例会では、予算決算常任委員会に議案9件、総務文教常任委員会に議案5件、産業厚生常任委員会に議案3件が付託され、詳細な審議を行いました。

詳細な内容は議会ホームページをご覧ください▶

<https://www.town.fukui-mihama.lg.jp/site/town-council/>



6月定例会

予算決算 常任委員会

議案第37号

専決処分の承認を求めることについて(令和5年度美浜町一般会計補正予算(第2号))

問 子育て世帯生活支援特別給付金を受給するために申請は必要なのか。

回答 申請は必要ではない。

問 電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金の場合はどうか。

回答 確認が必要で審査した上で給付する。

議案第40号

令和5年度美浜町一般会計補正予算(第3号)

問 「チョイソコみはま」の予約が取れないとの話を聞くが運行車両の台数を増やす考えはないのか。

回答 現在2台で運行しておりほとんどの方が予約

を取れている状態である。

問 「チョイソコみはま」はゲンキーやアオキに停車できない理由は何か。

回答 スポンサー制度を導入しておりスポンサーのお願いに行つたが難しいとの回答である。今後も町民の意見を聞き改善する等、検討していく。

問 若者世帯住宅取得支援事業補助は新築に対しての補助なのか。

回答 他の住宅補助制度と被らない、住宅購入または建築に対しての上限100万円の補助である。夫婦ともに39歳以下の若者夫婦世帯であつて、中学生以下の子どもと同居している子育て世代である。中学生以下の子どもがいない場合は、建築時に町内業者を利用する場合が対象である。

問 みはまシナプスプロジェクトエクト事業の次世代まちづくり業務委託の委託先はどこか。

回答 行政だけではできない部分があり、全国で学びをまちづくりに取り入れている自治体に関わっている実

績や経験のある事業者を募集し、プロポーザル等で決定したいと考えている。

問 子どもあそび場づくり事業の基本計画策定業務委託料264万8千円の内容は何か。

回答 基本方針、場所や施設の決定、遊具計画、概算事業費等の基本計画を策定する委託料である。まだ場所は決まっていないが「子ども・子育て会議」等で意見を聞き決めていきたい。子どもと保護者のみならず高齢者をはじめ町民同士が触れ合える施設を考えている。

問 有害鳥獣対策事業に関する有効な対策はあるのか。

回答 美浜町の猟友会とも相談し、専属的に人を雇つて巡回するだけでなく、山の中腹まで入つて完全に追い払つて効果があると考えている。

問 電池推進遊覧船太陽光システム導入業務委託の2隻別々に契約する理由は何か。

回答 国のエネルギー構造高度化・転換理解促進事業補助金を受けての事業であ

り、交付決定が遅れたことにより別々の発注になった。

問 町営住宅改修事業の小倉新住宅は何棟解体するのか。その跡地の利用は何か。

回答 3棟解体する計画である。跡地利用は一つの選択肢として分譲地を考えている。河川水位計設置事業の水位計を設置する場所は決まっているのか。

回答 町内8か所に水位計を設置する計画であるが、場所については今後打ち合わせを行い確定させたい。

議案43号
令和5年度美浜町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

問 汚水管渠布設工事費376万2千円は国道27号線のマンホール蓋取り替えだけなのか。

回答 27号線の改良工事に伴うマンホール蓋交換4か所と木野地区の下水道管布設箇所工事である。

総務文教 常任委員会

議案第38号

専決処分承認を求めるとして(美浜町条例の一部を改正する条例の制定について)

問 個人の町民税や軽自動車税関係の適用期限の延長に伴い、町の税収入が減るが、減った分は国から補てんはあるのか。

回答 今回の特例に関しての国からの補てんはない。

意見 収入が減った分に関して国に補てんを求めるなどの検討をこころし。

議案第39号

専決処分の承認を求めることについて(美浜町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について)

問 国民健康保険税の減額の対象となる所得基準の見直しで、5割軽減と2割軽減の対象者は今回の改正によって増えるのか。

回答 今回の改正により、5割軽減の対象世帯は1772世帯から4世帯増えて1776世帯に、2割軽減の対象世帯は1774世帯から5世帯増えて1779世帯となる。

議案第47号

美浜町印鑑条例及び美浜町手数料条例の一部を改正する条例の制定について

問 マイナンバーカードを使用中のコンビニ交付の利用実績はどれだけのものか。

回答 令和5年2月1日からコンビニ交付が始まり2月は89件、3月は147件、4月は123件、5月は速報値で69件となっている。

問 印鑑登録者持参の青色のカードは不要で処分してもいいのか。

回答 役場や出張所等で証明書を出す場合、青色のカードが無いと証明書が出せないのので引き続き持っていてほしい。

議案第48号

美浜町税条例の一部を改正する条例の制定について

問 軽自動車税の環境性能割・種別割の賦課徴収の特例については、自動車メーカーの不正行為に起因した場合、自動車メーカーの負担割合を増額するものなのか。

回答 不正をして、町のほうに納付が不足している分についての加算金額を、現行の10%から35%に増額するものである。

議案第49号

美浜町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

問 改正内容に「令和4年度以前の年度分の保険料であって令和5年4月以降に納期限が定められているもの」を追加するところがあるが、どのような事例が該当するのか。

回答 令和4年の3月に美浜町に転入された方や、遡って賦課を掛けた様な場合は納期限が4月となる。当初の制度設計では不備になるので今回追加となった。

産業厚生 常任委員会

議案第50号

美浜町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

問 新型コロナウイルス感染症の影響による介護保険料の減免の特例は、どのように免除になるのか。

回答 制度の概要は、新型コロナウイルス感染症の影響によって、介護保険料の減免措置を行っており、コロナの影響における第1号被保険者保険料に対しての減免措置である。今回の改

正については令和5年度以降の取り扱いである。

問 減免によりどれくらい安くなるのか

回答 対象は、生計維持者の事業収入の減少額が前年の当該事業収入の10分の3以上であって、減少が見込まれる事業収入等に係る所得以外に、前年の所得の合計が400万円以下である場合にこの制度の対象となる。例えば、前年の合計所得金額210万円以下は10分の10減免、前年の合計所得金額210万円を超える場合は10分の8の減免となる。

問 「令和4年度以前の年度分の保険料であって令和5年4月以降に納付期限が定められているものの減免」とは、どういった場合に発生するのか。

回答 主なものとして、3月に第1号被保険者になられる方が主な対象となる。その方の納期が一部4月になるため、現行の制度では4月以降の納期の方が対象にならないので、そこを改めるものである。

議案第51号

令和5年度美浜町公共下水道事業美浜町浄化センター建設工事委託(建築)に関する協定について

問 議案51号と議案52号の建設工事委託業者は、同じ事業者である。一括して入札でき

なかったのか。

回答 議案51号は建築工事、議案52号は電気工事に分かれている。建築工事は屋根、壁の改修工事、電気工事は令和5年度から6年度にまたがる工事で継続費を設定しているため、議案を分けている。

問 耐用年数の期限が来たから工事を発注するという

ことだが、管理棟、汚泥濃縮タンク、消毒設備等の耐用年数は同じなのか。

回答 耐用年数については、建築工事、電気物、電気工事、計装の備品によって違う。建築工事の建物に関しては、耐用年数は38年、機械電気工事については7年から20年、また、計装は7年から15年の耐用年数のものがある。

問 協定の方法は、随意契約になっているが、日本下水道事業団に発注しなければならぬ根拠があるのか。

回答 日本下水道事業団を選んだ理由は、設計業務、社会資本交付金が単年度ごとの交付決定となり、工事管理業務を行う上で、継続的に工事管理を行うことができる。また、昨年度の実績が全国で500ヶ所、約2000億円の工事実績があり、優れた施設を建設している点である。

第3回 美浜町議会定例会 議案

6月定例会では、議案1件、同意11件と「議員報酬など議会改革特別委員会の設置について」の発議が提出されました。

議案番号	件名	委員会付託	議決結果	対応ページ	
議案第 36 号	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度美浜町一般会計補正予算(第1号))	予算決算	可決	P4	
議案第 37 号	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度美浜町一般会計補正予算(第2号))		可決	P4・6	
議案第 38 号	専決処分の承認を求めることについて (美浜町税条例の一部を改正する条例の制定について)	総務文教	可決	P7	
議案第 39 号	専決処分の承認を求めることについて (美浜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)		可決	P7	
議案第 40 号	令和5年度美浜町一般会計補正予算(第3号)	予算決算	可決	P4・5・6・9	
議案第 41 号	令和5年度美浜町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)		可決		
議案第 42 号	令和5年度美浜町集落排水処理事業特別会計補正予算(第1号)		可決		
議案第 43 号	令和5年度美浜町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)		可決	P6	
議案第 44 号	令和5年度美浜町産業団地事業特別会計補正予算(第1号)		可決		
議案第 45 号	令和5年度美浜町住宅団地事業特別会計補正予算(第1号)		可決		
議案第 46 号	令和5年度美浜町上水道事業会計補正予算(第1号)		可決		
議案第 47 号	美浜町印鑑条例及び美浜町手数料条例の一部を改正する条例の制定について		総務文教	可決	P7・9
議案第 48 号	美浜町税条例の一部を改正する条例の制定について			可決	P7
議案第 49 号	美浜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について			可決	P7
議案第 50 号	美浜町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生	可決	P7	
議案第 51 号	令和5年度美浜町公共下水道事業美浜町浄化センター建設工事委託(建築)に関する協定について		可決	P7・9	
議案第 52 号	令和5年度美浜町公共下水道事業美浜町浄化センター建設工事委託(電気設備)に関する協定について		可決	P9	
議案第 53 号	土地の処分について	-	可決		
同意第 2 号	美浜町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		可決		
同意第 3 号	美浜町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		可決		
同意第 4 号	美浜町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		可決		
同意第 5 号	美浜町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		可決		
同意第 6 号	美浜町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		可決		
同意第 7 号	美浜町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		可決		
同意第 8 号	美浜町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		可決		
同意第 9 号	美浜町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		可決		
同意第 10 号	美浜町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		可決		
同意第 11 号	美浜町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		可決		
同意第 12 号	美浜町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		可決		
発議第 2 号	議員報酬など議会改革特別委員会の設置について			可決	

※略称 予算決算…予算決算常任委員会 総務文教…総務文教常任委員会 産業厚生…産業厚生常任委員会

賛否が分かれた議案

議席順に掲載（○賛成×反対一欠席□退席）し、反対または退席等があった議案だけ載せています。

議案番号	幸丈	兼田	中牟田	上道	高橋	梅津	河本	辻井	川畑	松下	崎元	藤本	竹仲
議案第 40 号	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	-	○
議案第 47 号	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	-	○
議案第 51 号	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	-	○
議案第 52 号	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	-	○

※議長（山口和治）は採決に加わりません。

討論概要

議案第40号 令和5年度美浜町一般会計補正予算(第3号)

反対討論

みはまシナプスプロジェクト事業の高すぎる業務委託料が無駄としか思えない。(河本議員)

議案第47号 美浜町印鑑条例及び美浜町手数料条例の一部を改正する条例の制定について

反対討論

マイナンバーカードは、個人の個人情報が登録されていたり、様々なトラブルが発生している。利用拡大に伴う情報漏洩の懸念は深まっており、利活用の拡大はストップするべきである。(河本議員)

議案第51号 令和5年度美浜町公共下水道事業美浜町浄化センター建設工事委託(建築)に関する協定について

議案第52号 令和5年度美浜町公共下水道事業美浜町浄化センター建設工事委託(電気設備)に関する協定について

反対討論

協定は、日本下水道事業団との随意契約になっている。競争により事業者を選定した方が、質が高いものを安く建設できると考える。(河本議員)

▶ 議会の動き

議員報酬など議会改革特別委員会を設置

町議会の議員報酬、議会活性化、議員のなりて不足を考える

6月23日、これまで議員報酬など議会改革プロジェクトチームにおいて、議員報酬など議会改革について調査、研究、協議を行ってきた。この春の県議会、小浜市、おおい町、高浜町議会選挙が無投票となり、議会議員のなり手不足が顕著となってきたことから、議員報酬の引き上げ等をしっかり議論しその結果をもとに町民との対話を重ね、結果を出したいと考えている。

原子力発電所特別委員会を開催

使用済み核燃料フランスへ搬出 中間貯蔵施設県外搬出と同等

6月19日、関西電力は年内に使用済み核燃料の中間貯蔵施設の県外搬出計画地点を確定する。と県との約束について、今回、関電は高浜原発の使用済み燃料約200t(全量の約10%)をフランスへ搬出することで、ひとまず約束を果たした。と発表したことについて、美浜町議会原子力発電所特別委員会は関電から説明を受けた。

議員からは「関電が県内に保有する使用済み核燃料の一部に過ぎず、その場しのぎの詭弁にすぎない。福井県政や

県民を愚弄(ぐろう)している」、「非常に苦肉の策。一般人は理解できない。関電の信頼を損なってしまった」、「美浜の使用済み核燃料はいつ出せるのか、計画を示してほしい。中間貯蔵の県外候補地を決めるのが無理なら、安全性の高いサイト内の乾式貯蔵を早期にすべきではないのか」などの意見が出された。

藤井室長は「引き続き原子力発電所の将来の安定運転に必要な使用済み核燃料の搬出容量を確保するため、あらゆる可能性を追求したい」と述べた。

国関係省庁へ要請活動

立地地域には、重要な案件である。

6月27,28日の両日、町長・議長及び議員3名で経済産業省、内閣府、文部科学省へそれぞれ原子力政策等に係る要請を行った。

その中で2050年カーボンニュートラルの実現に向けて取り組み、美浜町新庄～滋賀県高島市間の避難道路の多重化、原子力立地給付金の拡充、もんじゅ廃炉・新試験研究炉設置に係る地域振興について、それぞれ説明を行い、特に避難道路については、原子力発電推進には町民の安全安心には必須であり、関係省庁と連携し実現に向け協議していく。との回答を得た。



高橋 修 議員

町の人口減少対策 効果はあったか

問 総合振興計画の人口目標は2025年に

9400人としていたが、2019年に早々と割り込み、目標を2027年8832人に下げたがこれも危うい。これまでの町の施策は効果があったのか。

町長 今は2040年7900人を目標にしている。

このところ出生率が向上し、また住宅分譲等の効果で今年3月末人口は町の予測に近い。

人口減少 現場に 密着した対策を

問 人口減少は喫緊の課題

といひながら正面から対峙してこなかった。例えば若者の敦賀市定住等の真の原因把握ができていない。現場に密着した調査と対策が必要で

はないか。

町長 現状分析や地域・議会

の声を聞き、企業誘致・住宅整備・空家対策・賑いゾーン整備等を進めてきた。

意見 マクロ施策は分かるが、

議会ですべて人口問題を討議した記憶もない。ここまで酷い人口減少の原因と責任はどこにあるのか。これまでと同じ過ちを犯そうとしないか。住民レベルの議論と対策が必要である。

顧客の声を徹底聴取 する仕組みを

問 来春の新幹線敦賀開業

により美浜に賑わいと豊かさを取り戻す、という願いで諸施策を進めているが、これからが正念場であり継続的な改善が重要である。「顧客の声を徹底的に聴取し迅速に対応する仕組み」の構築が急務だと思つがどうか。

観光誘客 課長

観光まちづくり会議等でアンケートやモニターリング等を行っている。これからも利用者目線で観光振興に努める。

意見 観光事業に限らず諸施策において、来訪者や

住民の真の声を掴んでいると

は思えない。不満や要望を前向きに探り改善する仕組みが

必須になる。開業式典における「はまびより」社長の「今後は小さな意見も厳しい意見も

全て受入れて改善する」という姿勢が決め手になる。

問 2022年に策定された「観光振興計画の入

込客数目標」は2026年135万人であるが、これまでの諸施策で達成できるのか。

入込客数135万人 達成の見込みは

昨年ではコロナで66万人だが、今後観光協会・三方五湖DMO・町が

一体となり、観光アドバイザーの助言も得て取り組む。

意見 美浜町全域を美浜商店

と捉え、お客と住民の満足第一の視点で、魅力溢れる店にしていくことを望む。

入込客数増を地場 産業にどう繋ぐか

問 美浜への入込客数が

135万人に増えた場合、どのような道筋で農業や水産業に豊かさをもたらすのか。

観光誘客 課長

町内を周遊・宿泊されれば波及効果がある。これまで営農や出荷の支援をしてきたが、今後は道の駅やふるさと納税を通じての生産物の取引増が期待できる。住民の参画による観光振興に努める。

意見 住民の参画と連携こそ

が大切である。例えば道の駅、議会は特別委員会を設けて多数調査し、生産者組合を造るべき等の多くの提案をしたが受け止められなかった。大切なことは、常に学び・住民の声を聞き・日々改善することだと思つ。

美浜町のDX HPの刷新が急務

問 他の市町に比べ美浜町のHPは住民目線にな

っておらず使い勝手が全く良くない。HPの管理や改善はどうやっているのか。

まちづくり 推進課長

令和2年に使いやすい弱さ・探しやすさ・情報にリニューアルし、情報は各課が随時発信している。今後各課のDX推進委員による検証と研修等を行い改善したい。

意見 町のHPはいわばバー

チャルの役場であり、今後はこれが益々重要になる。住民目線で、住民や議会の意見にも耳を傾け、管理者も配置して取り組む必要がある。

地域愛 多用される 理由は

問 条例や福祉計画等の、

目的・理念等として「地域愛」の表記が多い。分りにくく、そして異論や多様性を封じることになると思つがどうか。

町長 地域愛とは、地域の自

然・文化・人などへの愛着や思いやりの心であり、明確に定義づけはできないが、それらをよくしたいと思つ心が源泉になると考えている。

意見 あまりに安易に使用さ

れていく観念的で、全体主義的な風土に陥る危うさも感じるので留意頂きたい。





河本 剛 議員

運動公園
子どもを中心とした
交流の場に！

答 設備の内容や規模などの検討を進めたい。

問

運動公園に子ども
の遊具を増やし、子
どもを中心とした交流の
場としてもっと敷地を有効
活用していく考えはなのか。

**生涯学習
推進課長**

現在、町が進めてい
る子どもの遊び場づ
くり事業において、
その必要性、設備の内容や
規模などの検討を進めたい
と考えている。

問

「にじいろパーク」
に隣接しているピ
オトープについて、現状
ピオトープの看板もなくな

り、あの場所が一体何の目
的で、誰の管理で存在して
いるのか分からなくなつて
いる。町行政が方向性、計
画をしっかりと町民に示して
いくべきだ。

**生涯学習
推進課長**

ピオトープについて
は、整備から20年が
経過し、設備の老朽
化により危険な状態となっ

たため、近年は立入禁止区
域として使われていない状
況となっている。

今後は、町が進めている子
どもの遊び場づくりを進め
る上で、専門家や住民の声
を聞きながら利活用の方策
などを検討していく。

意見

立入禁止で危険な
場所が、いつまでも
放置されているのはどう考
えてもおかしいでしょう。
早期に計画をつくって再整
備するなり、方針を示して
欲しい。

**水神公園や
寺山公園、彫刻の森
ビエンナーレに
再び光を当てれば
有効活用できる！**

答 厳しい伐採制限があり、
再整備については
断念せざるを得ない。

問

久々子湖周辺の整
備については、水神
公園や寺山公園はサイクリ
ングコース内にあり、景観
の整備や彫刻の森ビエンナ
ーレに再び光を当てれば、
立ち寄るポイントとして有
効活用できる。行政は水神
公園や寺山公園、彫刻の森
ビエンナーレの活用をどう
考えているのか。

**観光誘客
課長**

町では、寺山公園が
名勝三方五湖の第
1種地域に指定さ
れていることから再整備に
向け、県文化財担当局と県
文化財保護委員会の審議
委員と共に現地調査を実

施した。その結果、樹木の
種類や幹の太さに至るまで、
非常に厳しい伐採制限があ
り、再整備については断念
せざるを得ないという状況
になっている。

意見

一度整備したところ
は、古くなれば再整
備が必要になる。景観を維
持するために必要なことが
規制されるというのはかな
り問題がある。困難さを理
由にしていたら、ずっと何
もできない。規制を緩めて
もらうなどの要望活動を
繰り返していかなければ
道は開けない。地元、議
会が協力していく必要が
あるし、行政も努力して欲
しい。

**電池推進遊覧船
乗客数の当初目標と
評価は！**

答 十分な効果は現れて
いないが、伸びしろ
がある。

問

電池推進遊覧船の
乗客数は、当初の目
標と比べてどう評価してい
るのか。

**観光誘客
課長**

年間で4万8,000
人の乗船客を見込
んでいたが、開業し
てから5月までで約1、
100人の乗船となつている。
現状では十分な効果が現れ
ていないが、今年の秋には
2隻目の運航も開始する予
定で、電池推進遊覧船は伸
びしろがあると考えている。





かわばた ただゆき 議員
川畑 忠之

① 国の原子力政策に 対して

問

国は原発の積極活動へ舵を切り、原発の最大限活用の方針転換したことに對して、町長はどのように捉えているのか考えを伺う。

町長

グリーントランスフォーメーション実現に向けた基本方針や、今国会で成立したGX脱炭素電源法では、原子力発電の活用に係る国の責務や運転期間延長など、安全性の確保を大前提に原子力の活用が明確にされており、加えて、立地地域の実情を踏まえた防災対策や地域振興など、国が前面に立つて取り組むとの強力な政策方針が示さ

国の原子力政策について！

答

原子力の活用方針や法整備など、遅滞なく明確に原子力政策の方向性が示されたことに、エネルギー政策に向き合う国の強い姿勢を感じた。

れたことは、本町が立地地域として、国に對して強く要請していたことに、応えるものだと理解をしている。こうした状況の中で、将来を見据えた新たな原子力政策を着実に推進するためには、立地地域の振興、滋賀県に通ずる避難道路の整備をはじめとする安全・安心の最大限の確保など、立地地域の実情に即した伴走型を基軸とする政策の推進を強く求めていると考えている。

② 美浜発電所におけるリプレース（建替え）推進について

問

次世代型の原子炉の開発・建設は、福

町長

井県が主要な舞台になると思うが、町長は、国の次世代型革新炉の方針が示された内容に對して、美浜発電所のリプレースをどのように考えているのか伺う。

グリーントランスフォーメーション実現に向けた、基本方針で示されているように、持続的なエネルギーの安定供給と脱炭素社会の実現を目指すためには、原子力発電の再稼働と運転期間の延長に限らず、次世代革新炉によるリプレースも含めた現実的な対応が必要であると考えている。美浜町でのリプレースについては、あくまでも事業者の経営判断によるものであると考えているが、

将来にわたって持続的に原子力発電事業を進めるためには、立地地域の振興や避難道路の整備など、安全・安心の最大限の確保、住民理解が得られるなどの環境が整うことが大前提であると考えている。

③ 原子力発電の避難道路要望について

問

町民総意による、本道路の実現に向けて進めている状況だが、町長も嶺南で唯一、南北の避難道路がないことの情報発信を国内に広め、住



町長

民の安全・安心のために、最大限確保すべき重要な要素だと事あるごとに要望しているが、今後の取組に對して、どのような考えがあるのか伺う。

本町における避難道路や制圧道路の多重化、強靱化は喫緊の課題であり、これまで国や県に要請し続けてきたところだが、十分な理解が得られず、足踏み状態である。今般の国の基本方針では、立地地域の実情を踏まえた、防災対策の課題解決に前面に立つて取り組む政策方針が示され、町に寄り添った施策が、展開されるような状況であるので、本道路の実現については、県選出の国会議員の支援や国、県をはじめ関係機関に對し、議会と一丸となつて、強力に要請をしていきたいと考えている。



うめづ たかひさ 議員
梅津 隆久

美浜新庄ウインド ファーム発電事業に ついて

答
地元理解や自然環境への配慮、自然災害への対応を大前提とし取り組んでいく。

問

第五次総合振興計画、後期基本計画の

エネルギー施策と地域振興において、エネルギービジョンを町民に浸透させ理解を得ながら再生可能エネルギー活用推進施策の一つとして現在、新庄区の風力発電建設に向けた調査、検討が進められているが町民への施策に関する成果指標基準値63・2%に対し令和

7年度目標を70%と定めているが意識啓発事業進捗状況と本日までの成果についてお伺いする。

町長

平成28年度に原子力に加え再生可能エネルギーの利用導入促進をビジョンとして策定し電池推進遊覧船等の整備を進めている。

合わせて風力発電についても事業化に向け地元の理解、自然環境への配慮、自然災害への対応がなされる事などを大前提として取り組んでいきたい。

エネルギー政策課長

近年のエネルギーを取り巻く状況が急速に変化している事を踏まえて展示学習、地域振興、商業レベルの達成に向けて事業を推進している。カーボンニュートラル実現に貢献できるよう町民への

啓発に努めていきたい。

問

エネルギービジョン成果目標値は再生可能エネルギーの事業化

率と認識すれば良いのか。それとも町民からのアンケート結果等による理解度と理解すれば良いのか。

エネルギー政策課長

エネルギービジョン策定時の町民アンケート数値であり今後改訂の際に再度アンケートを取り評価していきたい。

問

最近の新聞報道等による日本自然保護協会は全国的に急増する大型風力発電計画の環境影響評価分析内容に新庄区での計画地は希少鳥類のイヌワシ、クマタカ等の生息地であると指摘しているが町としての建設推進計画をどのように評価しているのか。

エネルギー政策課長

町の環境審議会からの答申を踏まえ生態系などへの影響回避や近年増加している集中豪雨災害の影響を十分に考慮の上、慎重に事業計画を進めたい。

意見

カーボンニュートラル実現に向け原子力と共に導入期待が高まっていることから自然環境保護とエネルギーとのバランスを十分考慮の上導入して頂きたい。

防犯対策の 推進について

答
防犯カメラは公設目的として現時点ではプライバシー保護と防犯上の観点等から必要最小限の要件として考えている。

問

第五次美浜町総合振興計画、後期基本計画の中で犯罪の無い環

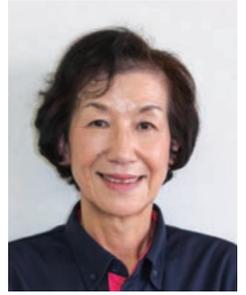
境整備推進事業で防犯カメラ設置交付金制度があるが設置経費の3分の2を乗じた額とし最大1台あたり10万円となっているが不審者の早期発見と生命の安全確保の観点から区長

要望があれば全額町負担で設置する考えはないか。

総務課長

令和2年度から6年度までの補助事業であり既に設置した集落との公平性などの観点から今後の検討課題として要綱等を含めて検討したい。





なかむらたはるこ 議員
中村 春子

第2期美浜町子ども子育て支援事業計画について

答 支援事業計画に基づき取組んでいる。

問

第2期美浜町子ども子育て支援事業計画は令和2年度から令和6年度までの5年間の計画期間として策定されているが、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援について伺う。

町長

令和2年度より「第2期美浜町子ども子育て支援事業計画」に基づき、子ども達が夢ある未来に向かって、すくすく・のびのび元気に育てる環境づくりや支援に取り組んでいる。本年4月に「子ども未来課」を新設し子ども政策統括幹を中心とした全庁横断

子ども政策統括幹

的な連携の下に、きめこまやかな子育て支援を進めるための体制強化を図った次第である。令和2年度において「子育て世代包括支援センター」や「子ども家庭総合支援拠点」等の機能を集約し、包括的な子育ての総合として「子ども・子育てサポートセンター」を整備した。あわせて、親や子ども、家庭を対象とした切れ目のない継続的な支援の仕組みづくりとして養育支援体制にも力を入れている。

意見

子どもの個々の発達や成長に応じたきめ細かな子育て支援にあつては、支援を担う人材の確保・育成が大切と考える。

乳児、家庭全戸訪問事業について

答 訪問や来所対面、母子保健事業での対応実績率は毎年95%で推移している。

問

生後4か月までの乳児のすべての家庭を訪問

をする中で、親子の心身の状況や養育環境の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対して適切なサービス提供につなげる事業であるが、令和元年度から令和3年度までの訪問件数及び実施率を伺う。

子ども政策統括幹

令和元年度から令和3年度においては、対象家庭数は毎年概ね65世帯に対し、訪問や来所対面、母子保健事業での対応実績率は毎年95%で推移している。

意見

乳児家庭全戸の訪問においては、その後の体制の構築が不可欠であると考ええる。問題があつた時や必要がある時に、いかに素早い対応が取れるか、自治体における体制づくりが求められると考える。

問

困難を抱える家庭の発見と、支援につなげた事例についての実績を伺う。

子ども政策統括幹

本事業によって、例年約1割の5件程度は困難を抱える事例として支援につなげている。

意見

近年は、核家族化で相談できる家族が近くにいない、少子化や晩婚化で子育ての悩みを共有できる友人や知人がいない。近所関係の希薄化で近隣の方に相談のこともうつことができない等、育児のアドバイスやサポートも受けられない家庭が増えていく。「こんにちは赤ちゃん事業を通じて、地域に身近に相談できる窓口があることを周知することで乳児家庭の孤立を防ぐこともできる」と考える。

安心して子どもを産み育てることができる環境づくりについて

答 男女ともに育児休暇を取得しやすい環境づくりの取り組みを推進している。

問

安心して子どもを産み育てることができ環境づくりにとって、重要なことの一つに男性の育児参加がある。男性の育児休暇を取得しやすい対策について伺う。

まちづくり推進課長

令和5年3月に第4次美浜町男女共同参画の推進計画を策定し、その中で男女ともに育児休暇を取得しやすい環境づくりの取り組みを推進している。

問

美浜町役場男性職員

総務課長

これまで述べ5回、実数で4人が取得しており、昨年度からは3人が取得している。今後も男性の育児休暇取得のしやすい環境づくりが進むよう、制度の周知や職員の意識の醸成を図るなど、取り組んでいく。



質問、返答については質問者の
文責で掲載しています。



辻井 雅之 議員

北陸新幹線 小浜ルート着工の 嶺南市町の行動は

答 沿線地域の発展には、
重要不可欠なもので
地元を含め北陸・関西一丸
となり早期開通を目指す。

問

町長は敦賀以西の小浜ルート工事着工の明確化を知事と共に国に訴えてきたが、今後嶺南市町とどの様な行動を共にするのか。

町長

沿線地域の飛躍的な発展や災害に強い強靱な国土づくりを図る上で不可欠な路線で、極めて重要な国家プロジェクトである。嶺南市町、北陸・関西地域の経済界と一体となり、早期全面開通を強く訴える。

本町も議会と共に地域住民の気運醸成を高めて行く。

問

敦賀と小浜は駅が出来るが、美浜町は通過路線となるが、メリツトをどこに求めるのか。

まちづくり 推進課長

北陸新幹線は、東京～大阪を北回りで結ぶ路線で、災害時にも東海道新幹線の代替え機能を果たすインフラ路線となる。京都ルートが整備されれば、リニア中央新幹線も繋がり、大環状広域ルートとなり、観光客や交流人口の拡大が見込まれる。

敦賀、小浜駅から京都駅を経由して新大阪駅へ直行するルートのため、関西圏への時間短縮効果が大きく、通勤利用や町民の利便向上に繋がる。



三方五湖 レイクセンターの 位置案内は

答 道沿いに、写真入りの案内看板を幾つか設置し道の駅でも案内をする

問

4月にオープンした三方五湖レイクセンターから、発着する遊覧船は、日本で初めての電池推進船で、私も、一般乗客として家族と一緒に乗船した。エンジン音は静かで、ガイドさんの声の笑顔の表情、そして船窓からの景色が乗客に感動をもたらししていた。

少し気掛りなのが、このレイクセンターの場所が、国道や梅街道のメイン道路から離れているから分かりにくい。これを解消する為に何か方策を講じるのか。

観光誘客 課長

家用車やバスの場合、カーナビの利便が可能である。道路沿いには、分かり易い写真入りの案内看板を設置して誘導を図り、また道の駅「まびより」に整備した観光

案内看板にはQRコードを、若狭美浜トラベルガイドでは、町内観光施設をナビゲーションする仕組みを施した。パンフレットやチラシ等にも掲載してPRする。



レインボーラインが 一般県道に変わったが、 客の入込み状況は

答 昨年と比較すると、
増加し駐車料金は、
通行料金よりも
過小評価だが増えた

問

今年の十月から、レインボーラインが有料道路から一般県道273号に変わり、通行料がいらなくなった。しかし、駐車料

金が普通車で500円掛るようになったが、お客様の入込数はどの様なものか。

観光誘客 課長

福井県道路公社が昨年九月をもって解散し、十月以降、県道化したのが、入込客数は前年と比較して、今年の1月を除き、月の比較で全て増加している。

町役場職員の女性 管理職の登用率は

答 令和3年4月の調査
結果では、県内1位と
なっている。

問

男女共同参画の推進活動が進む中、役場でも女性の管理者が増えていくが、その割合はどの様な数字か。

総務課長

令和3年4月1日時点の調査では、管理職総数に占める女性管理職の割合は県内市町の平均は22・8%であるが、本町は34・8%で県内1位であった。現在は参事級の管理職数が増えたことで、33・3%となっている。



屋根付きイベント広場「みはまプラザ」



人々が集い 育み 美し美浜を体感できる賑わい拠点

若狭美浜はまびより 道の駅 オープン



地域交流の場や町民憩いの場として美浜駅前に道の駅がオープンしました。新幹線開業を見据えての美浜町のゲートウェイとしての役割を持ちます。店内は農林水産物直販所「みはまの市場」のほかカフェや居酒屋・Barなどの店舗のほか一時預かり託児所やレンタルスタジオもあり交流の場としても利用できます。



平日でも多くの買物客でにぎわう店内

編集後記

第五次美浜町総合振興計画後期基本計画に基づき整備して来ましたが道の駅若狭美浜はまびよりが六月二日にグランドオープンしました。来年春の北陸新幹線敦賀開業等を見据えた交流人口の拡大と地域住民の物産販売と買物、憩いの場となることを期待したい。

また、議員なりに不足の解消策として「議員報酬など議会改革特別委員会」を立ち上げ検討してまいりたいと考えております。ご支援、ご鞭撻の程、よろしくお願ひします。



(梅津 記)

美浜町議会広報特別委員会

- 【委員長】 兼田 和雄
- 【副委員長】 中牟田春子
- 【委員】 竹仲 良廣・崎元 良栄
 川畑 忠之・河本 猛
 梅津 隆久